

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【公開番号】特開2013-66377(P2013-66377A)

【公開日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【年通号数】公開・登録公報2013-017

【出願番号】特願2012-270485(P2012-270485)

【国際特許分類】

H 0 2 J 17/00 (2006.01)

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

H 0 1 M 10/44 (2006.01)

H 0 1 F 38/14 (2006.01)

【F I】

H 0 2 J 17/00 A

H 0 2 J 7/00 3 0 1 D

H 0 2 J 7/00 3 0 1 B

H 0 1 M 10/44 Q

H 0 1 F 23/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月19日(2013.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筐体と、

前記筐体の表面に設けられたアンテナ回路と、

前記筐体内に設けられ、前記アンテナ回路と電氣的に接続された充電回路と、

前記筐体内に露出して設けられ、前記充電回路と電氣的に接続された端子と、を有し、

前記充電回路は、前記アンテナ回路が電波を受信することで生成される交流電圧を整流して直流電圧を生成し、前記直流電圧の大きさを調整する機能を有することを特徴とする充電装置。

【請求項 2】

筐体と、

前記筐体の表面に設けられたアンテナ回路と、

前記アンテナ回路を覆う保護材と、

前記筐体内に設けられ、前記アンテナ回路と電氣的に接続された充電回路と、

前記筐体内に露出して設けられ、前記充電回路と電氣的に接続された端子と、を有し、

前記充電回路は、前記アンテナ回路が電波を受信することで生成される交流電圧を整流して直流電圧を生成し、前記直流電圧の大きさを調整する機能を有することを特徴とする充電装置。

【請求項 3】

筐体と、

前記筐体の表面に設けられたアンテナ回路と、

前記筐体及び前記アンテナ回路を覆う保護材と、

前記筐体内に設けられ、前記アンテナ回路と電氣的に接続された充電回路と、

前記筐体内に露出して設けられ、前記充電回路と電氣的に接続された端子と、を有し、
前記充電回路は、前記アンテナ回路が電波を受信することで生成される交流電圧を整流
して直流電圧を生成し、前記直流電圧の大きさを調整する機能を有することを特徴とする
充電装置。

【請求項 4】

請求項 1 又は 2 において、

前記筐体は、前記保護材よりも前記電波を通しにくいことを特徴とする充電装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれかーにおいて、

前記電波は余剰の電波であることを特徴とする充電装置。